

2023年度上期実績

2023年11月14日



本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する 当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現 在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれており ます。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、 「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、 この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保 証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実 際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる 「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があ ります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、 以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、 保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の 増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合弁事 業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外 における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよ び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業 績に関する記述 |を過度に信頼すべきではありません。当社グ ループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や 改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および 経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性 がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本 邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出した Form 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしま した各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

為替レート(月末TTM)

	22/9末	23/3末	23/9末
1ドル	144.81円	133.54円	149.58円
1ユーロ	142.32円	145.75円	157.99円

本資料における計数、表記の定義

三井住友フィナンシャルグループ(持株会社)
三井住友銀行
SMBC信託銀行
三井住友ファイナンス&リース
SMBC日興証券
三井住友カード
SMBCコンシューマーファイナンス
三井住友DSアセットマネジメント
SMBC Aviation Capital
SMFG India Credit Company (旧Fullerton India)
SMBCバンクインターナショナル、 SMBCバンクEU、三井住友銀行(中国)
三井住友フィナンシャルグループ連結
三井住友銀行単体
臨時処理分を除く
一般貸倒引当金繰入前
親会社株主に帰属する当期純利益
国内の個人向けビジネス
国内の法人向けビジネス
海外ビジネス
市場関連ビジネス

決算ハイライト

- 1 連結粗利益・連結業務純益・親会社株主純利益のすべてで<u>上期の過去最高益を更新</u>
 - ✓ 通期業績予想を上方修正、親会社株主純利益は、中期経営計画の最終年度目標を初年度で超過達成見込み
- 2 業績予想の上方修正を踏まえ、株主還元を強化
 - ✓ 配当予想引き上げ・自己株取得により、総還元性向は過去最高の62%

通期業績予想 上方修正

期初予想:8,200億円

9,200億円

配当予想引き上げ

前年比+30円·期初予想比+20円

270円/株

自己株取得

取得額上限

1,500億円

決算ハイライト① 業績予想の上方修正

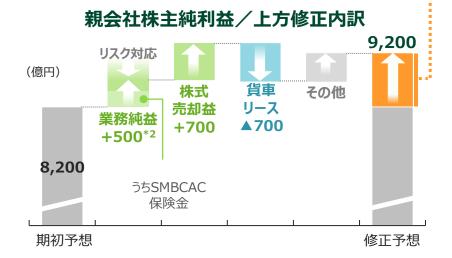
事業部門は総じて好調であり、連結業務純益・親会社株主純利益ともに上期過去最高益を更新期初は厳しい業務環境を想定していたものの、円安・株高等のマーケット要因もあり、通期目標を上方修正

■上期実績

上州入村		
(億円)	実績	前年同期比
連結業務純益	7,709	+490 •
与信関係費用	▲ 1,003	▲172
経常利益	7,092	▲168
親会社株主純利益	5,265	+10
持分変(東亜鉛(億円)	限行)の剥落	7,709
22年度上期		

┛ 通期業績予想(修正後)^{*1}

(億円)	修正目標	期初目標比
連結業務純益	14,000	+600
与信関係費用	▲ 2,300	_
経常利益	13,200	+1,600
親会社株主純利益	9,200	+1,000 •



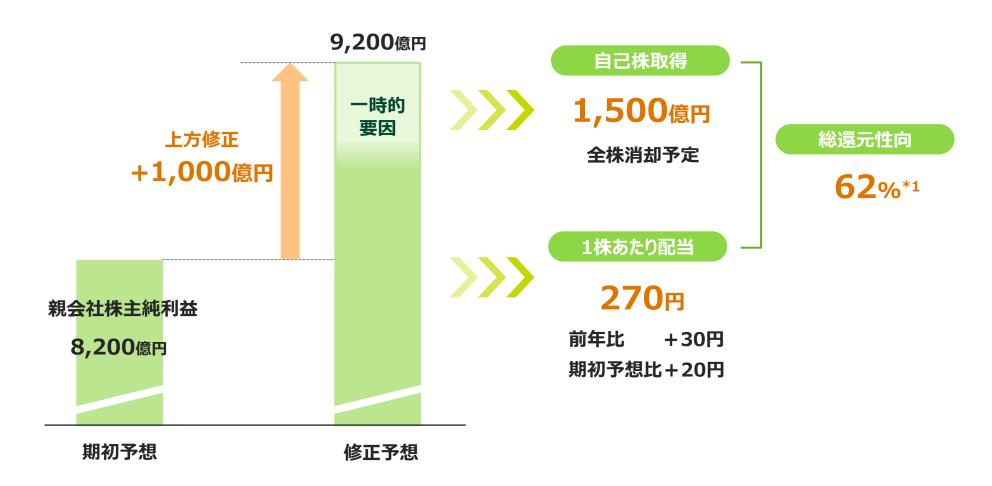
^{*1} 為替前提を120円/USD⇒130円/USDに見直し、金利前提は日本国債10年金利:0.5%・政策金利:▲0.1%で不変 *2 税引前影響+600億円(SMBCAC保険金は持分法投資損益につき税負担なし)

決算ハイライト② 株主還元策

1,000億円の業績予想上方修正を踏まえ、株主還元を強化

配 当:1株あたり270円(前年比+30円、期初予想比+20円)

自己株取得:1,500億円を実施



期初策定の通期業績目標に対し、連結業務純益58%、親会社株主純利益64%と高進捗

			23年度	前年	23年月	度目標
	(億	(円)	上期	同期比	修正前	修正後
1	連結粗利益		18,173	+1,850		
2	営業経費		▲ 10,822	▲ 1,196		
_	(経費率)		59.5%	▲ 0.5%		
3	持分法投資損益	進技	季 358	▲ 163		
4	連結業務純益	58	7, 709	+490	13,400	14,000
5	与信関係費用		▲ 1,003	▲ 172	▲ 2,300	▲ 2,300
6	株式等損益		468	▲ 453		
7	その他		▲ 82	▲34		
8	経常利益		7,092	▲168	11,600	13,200
9	特別損益		▲ 28	▲ 14		
10	税コスト		▲1,777	△ 160		
11	親会社株主純利益	64	% 5,265	+10	8,200	9,200
12	東証基準ROE		8.0%	▲0.5%		
13	株主資本ROE		10.0%	▲0.3%		

● 連結粗利益

SMBC日興の回復や国内外の貸金収益増、 決済ビジネスの好調等により各事業部門が堅調に推移 為替影響:+210

● 営業経費

インフレ影響 (▲250) による経費増や 決済ビジネス好調等に伴う売上連動費増 (▲250) により増加 為替影響:▲140

● 持分法投資損益

前年度計上した東亜銀行にかかる 持分変動益の剥落(▲200)により減益 為替影響:+10

● 与信関係費用

国内のリテール子会社を中心に増加(▲240)したものの、 通期予想対比では想定の範囲内で推移

0 ● 株式等損益

ETF売却益が増加(+70)した一方、 海外上場出資先の減損(▲290) および 政策保有株式売却益(610、YoY▲70) の減少により減益

(参考) 主要グループ会社の業績

SMBC

	(億円)	23年度 上期	前年 同期比	23年度 目標
1	業務粗利益	8,954	▲328	
2	うち資金利益	5,277	▲837	•—
3	うち投資信託解約損益	47	▲ 266	大口の子会社
4	国内	2,978	▲ 555	配当の剥落 (▲420)
5	海外	2,299	▲282	⇒連結消去
6	うち役務取引等利益	2,316	+94	
7	国内	1,119	+172	
8	海外	1,197	▲ 78	
9	うち特定取引利益+その他業務利益	1,347	+412	
10	うち国債等債券損益	▲2	+631	
11	経費	▲ 4,816	▲378	
12	業務純益	4,139	▲ 706	7,650
13	与信関係費用	▲ 102	△533	▲850
14	株式等損益	406	▲436	
15	その他臨時損益	68	▲295	
16	当期純利益	3,457	▲ 540	6,400

■ SMBC以外の主要グループ会社

		(左:23年度上期実績、				同期比)
(億円)	SMC	c *1	SMBC	日興 *2	SMBO	CCF *1
業務粗利益	2,667	+304	2,184	+444	1,231	+74
経費	▲2,181	▲268	▲ 1,930	▲160	▲ 513	▲21
業務純益	491	+40	255	+284	588	▲39
当期純利益	170	▲22	185	+197	91	▲184

(持分法適用)

	SMBC	信託	三井住港	友DS 50	% SMFL*	50%
業務粗利益	355	+106	199	+16	1,403	+149
経費	▲ 197	▲17	▲164	▲12	▲ 611	▲29
業務純益	157	+89	35	+4	843	+110
当期純利益	123	+64	24	+6	421	+46

^{*1} 前年同期比は再編影響を遡及反映

^{*2} SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsの利益を含む内部管理ベース

^{*3} 内部管理ベース

(参考) 2023年度決算における主な特殊要因

航空機リースでは、ロシア向け一部機体について保険金710百万米ドルを受領事業ポートフォリオの資本効率改善に向け、米国の貨車リース事業を売却

30

航空機リースでの保険金受領

ロシア留置機体34機 簿価16億ドル*1

23/9までの減損影響合計 ボトムライン ▲810億円*2

<u>23/10: Aeroflot向け16機を対象に</u> <u>Aeroflot契約の保険会社から保険金受領</u>

財務影響 ボトムライン +311百万米ドル^{*3}

保険金710百万米ドル

Aeroflot **NSK** 保険 16機 航空機リース 訴訟中 **SMBC** 保険 会社 AC 解約済 ロシア 再保険 航空会社 18機 会社

● 追加減損時の最大影響:ボトムライン▲90百万米ドル

米国・貨車リース事業の売却

30

2013: 貨車リース事業参入

Flagship Rail Servicesを買収、
 SMBC Rail Services (SMBCRS) に社名変更

2017: American Railcar Leasing買収

事業規模の拡大および より採算性の高い車種の獲得を企図

米国有数の貨車リース事業者に成長

事業環境の変化や業界再編を背景に減損リスクも 効率的な業務運営・競争力の維持が課題に

貨車規制強化

マージン低下

2023: ITEへの売却を決定

成長事業領域への経営資源再配分により、 事業ポートフォリオの資本効率改善を目指す

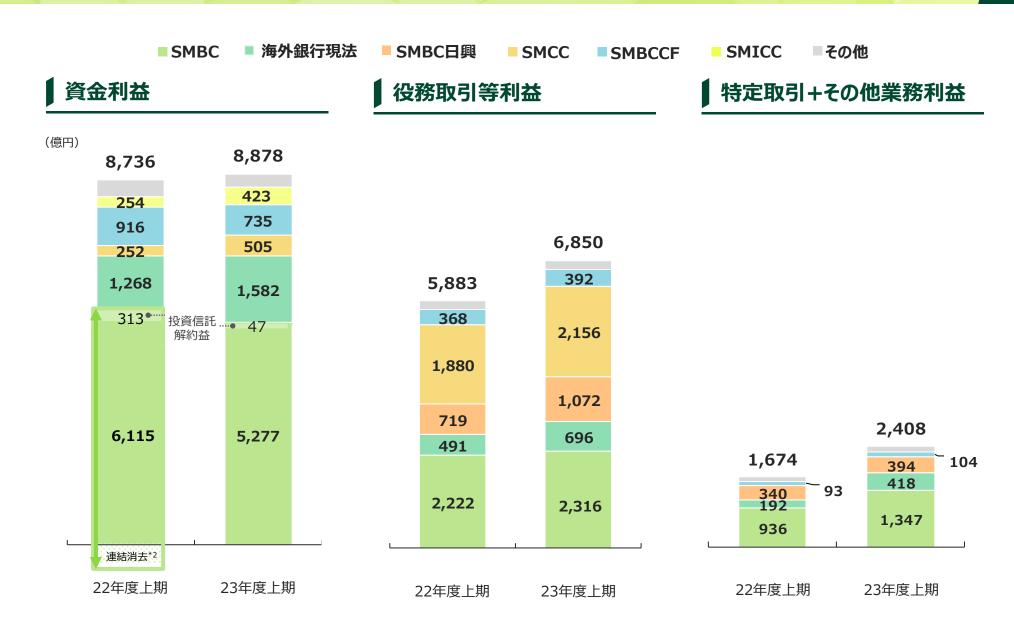
財務影響*4

(CET1比率影響)

RWA	$ riangle$ 2,900 $_{ar{ extsf{a}}ar{ extsf{b}}ar{ extsf{k}}ar{ extsf{k}}ar{ extsf{k}}$	+4bp
売却損	▲560 _{百万米ドル}	▲7bp

^{*1} 減損前 *2 保証金ネット後 *3 簿価残高の減損額ネット後

^{*4} 金額は譲渡合意時点のSMBCRS純資産見通しに基づき算出しており、変動の可能性あり

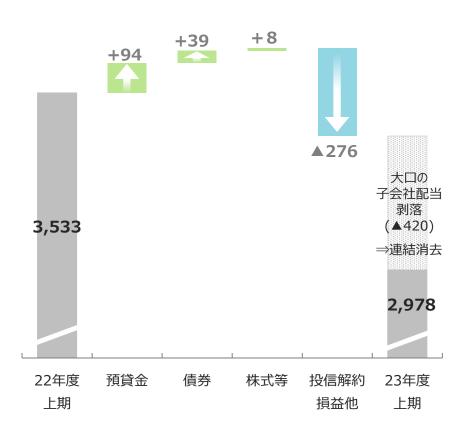


(参考) 資金利益の増減要因 (BC単体)

国内

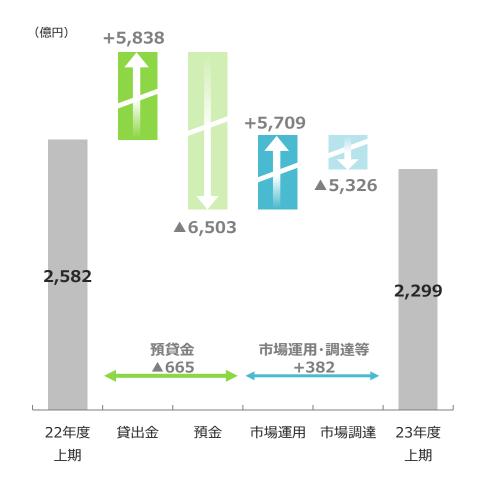
投信解約益の減少があるも、預貸金収益は増加*前年度に計上した大口の子会社配当の剥落は連結上影響なし

(億円)

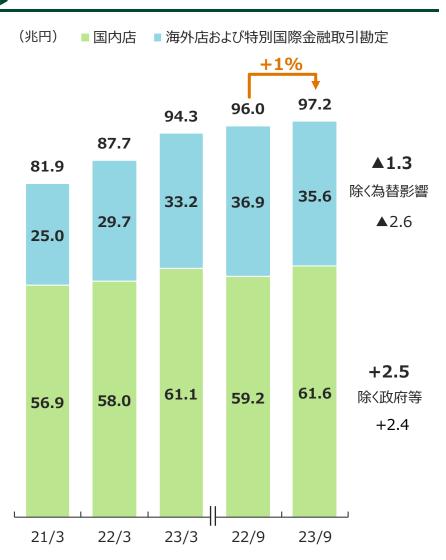


海外

● 3月の金融不安を踏まえて流動性確保に注力 金利上昇も相まって預金調達コストが増加



貸出金残高



国内預貸金利回差

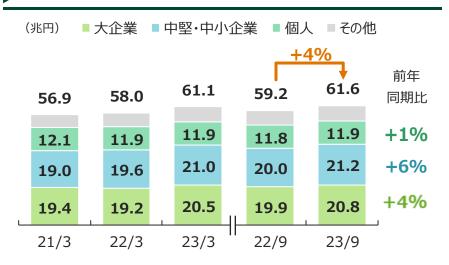
(%)	23年度 上期	前年 同期比	1Q	2Q
貸出金利回	0.82	▲0.02	0.82	0.83
預金等利回	0.00	△0.00	0.00	0.00
預貸金利回差	0.82	▲0.02	0.82	0.83
(参考) 政府等向け貸出金担	空除後			
貸出金利回	0.84	▲0.01	0.84	0.84
預貸金利回差	0.84	▲0.01	0.84	0.84

期中平均貸出金残高・スプレッド*2

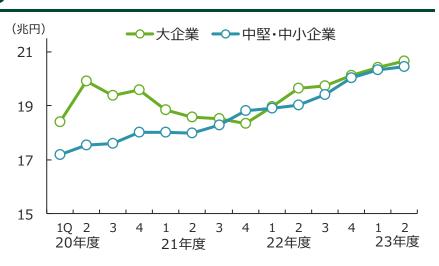
	平均残高(兆円)		スプレット	۶ (%)
	23年度 上期	前年 同期比 ^{*4}	23年度 上期	前年 同期比
国内貸出	59.5	+2.8	0.71	▲0.01
除く政府等・SMFG向け	57.0	+2.8	0.74	▲0.01
うち大企業	20.5	+1.3	0.55	▲0.00
うち中堅・中小企業	21.0	+1.2	0.64	+0.02
うち個人	11.9	+0.1	1.37	▲0.04
GB運用資産(億ドル)*3	3,449	▲216	1.22	+0.06

国内預貸金*1

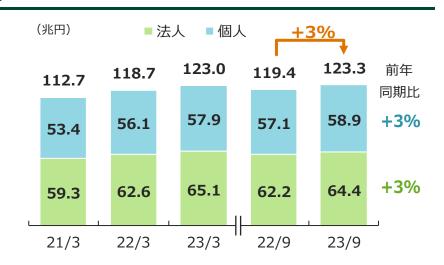
貸出金残高*2



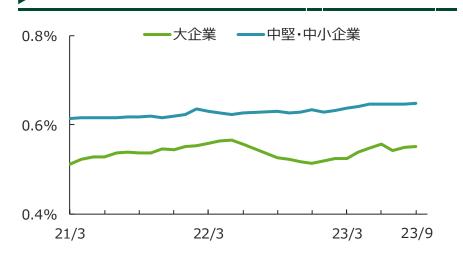
法人向け平均貸出金残高^{*2,3}



預金残高



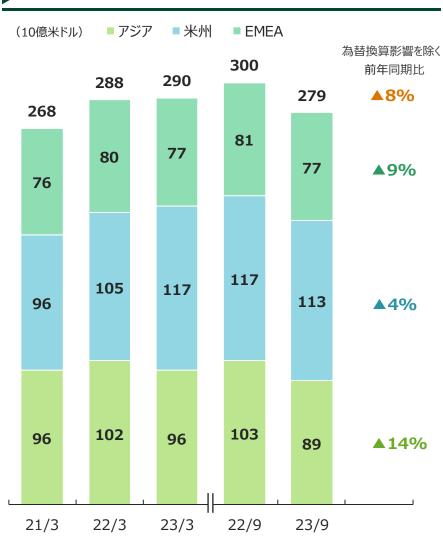
法人向け貸出金スプレッド*2,4



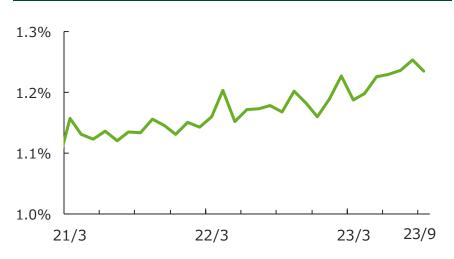
^{*1} BC単体 *2 内部管理ベース *3 四半期平残、政府向け等を除く。中堅・中小企業はエリア企業向けを除く *4 ストックベース、政府向け等を除く

海外預貸金*1

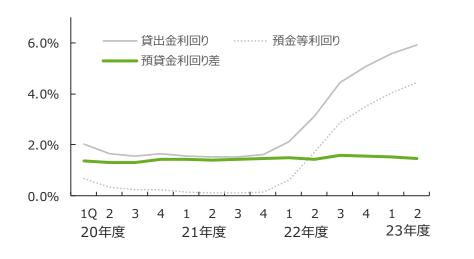
貸出金残高



貸出金スプレッド*2

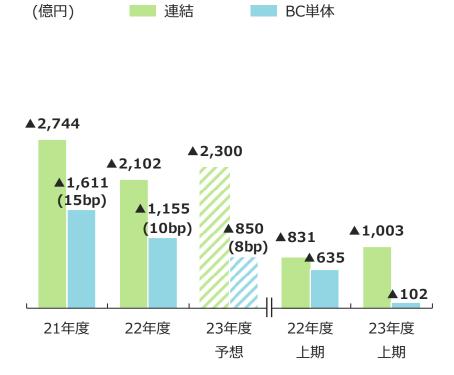


預貸金利回り差



アセットクオリティ

与信関係費用



連単差の主な内訳(概数)

(億円)	23年度上期	前年同期比
SMBCCF	4 30	▲ 130*²
SMCC	1 260	▲ 110*²
SMICC	▲ 120	1 70
海外銀行現法	4 90	1 20
為替差損益にかかる調整	-	▲ 230*³

不良債権残高·比率^{*1}



総与信末残			(兆円)	
連結	107	116	121	
BC単体	104	113	117	
その他要注意先(除く要管理債権)				
BC単体	1.9	1.8	1.7	

^{*1} 不良債権比率 = 銀行法及び再生法に基づく債権残高(除く正常債権)/総与信

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.

All Rights Reserved.

有価証券1

その他有価証券の内訳(連結)

(億円)	残 i 23/9末	高 23/3末比	評価 23/9末	損益 23/3末比
満期保有目的	2,122	+466	▲ 17	▲ 13
その他有価証券	394,395	+69,746	20,935	+1,784
国内株式	38,006	+4,552	24,262	+4,814
国内債券	129,585	▲ 2,190	▲ 1,200	▲ 558
うち 国債	95,121	▲ 642	▲ 645	▲281
その他	226,805	+67,384	▲ 2,126 [*]	¹ ▲2,472
うち 外債	191,030	+60,215	• ▲11,143	▲ 4,170

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール



*1 外国債券との差額は外国株式等 *2 24年度以降の売却予定分も含む

政策保有株式(23/9末)

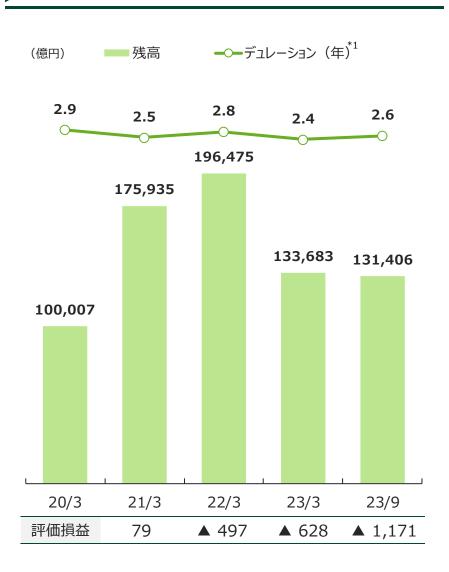


- 23-25年度(3ヵ年)で△2,000億円削減
- 次期中計期間中(26-28年度)に連結純資産に対する時価割合20%未満の目処をつける*3

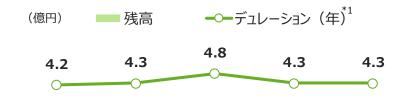
^{*3 23/9}末:32.2%、分子には有価証券報告書に記載される「みなし保有株式」の残高を含む

有価証券②

円債(BC単体)



▲ 外債(BC単体)





バランスシート

連結B/S

() 内は23/3末比

貸出金

102.4兆円 (+4.0兆円)

国内貸出金*1,2

61.6兆円

有価証券

40.4兆円 (+7.2兆円)

国債 9.5兆円 外国債券 19.1兆円

その他

150.8兆円 (+12.0兆円)

現預金	77.4兆円
日銀当座預金*2	59.5兆円

預金

176.2兆円 (+4.4兆円)

預貸率 58.1%

国内預金*2	123.3兆円
譲渡性預金 (NCD)	13.8兆円

その他

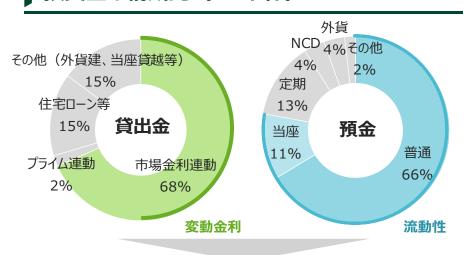
103.7兆円 (+17.8兆円)

純資産

13.8兆円 (+1.0兆円)

総資産 293.7兆円 (+23.3兆円)

預貸金の構成比(BC単体)*1



円金利の上昇による資金利益影響 (B/S不変前提)

短期金利上昇	資金利益 約 +300億円
中長期金利上昇	資金利益 約 +100億円 (初年度)●

- 固定金利貸金の入替が進むことで、5年後約+500億円
- 市場性運用益の改善は織り込まず金利上昇継続の可能性から、国債買増しは慎重に検討

<前提>	政策金利	5年	10年
_	0%*3	0.6%	1.1%
(23/9末)	▲0.1%	0.34%	0.77%

外貨流動性

外貨B/S *1,2

貸出金

340 (**▲**13)

その他

157 (+1)

外債、NCD

99 (+29)

(10億米ドル、() 内は23/3末比)

顧客性預金(含む中銀預金)

257 (**A**6)

中長期調達(社債、円投等)

144 (+4)

CD/CP

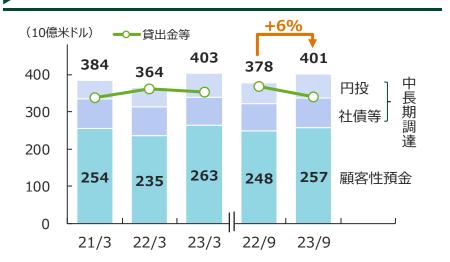
73 (+0)

インターバンク (含むレポ)

122 (+20)

資産·負債 596 (+18)

外貨ファンディング



外貨金利の上昇影響

預貸金

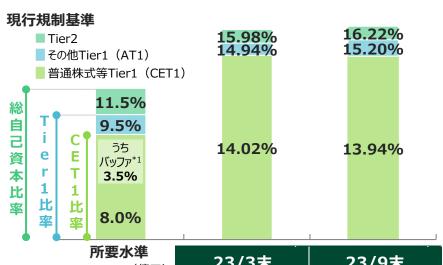
貸出金・預金とも、大宗は基準金利連動一部、金利感応度の低い流動性預金も存在

外債

- 国債金利が上昇すれば、含み損は拡大
- キャリー収益については、調達コストは上昇する一方、 一部償還再投資分の利回りが改善

資本・リスクアセット

自己資本比率



(億円)	23/3末	23/9末
総自己資本	123,508	133,128
Tier1資本	115,489	124,706
うちCET1資本	108,390	114,387
Tier2資本	8,019	8,422
リスクアセット	772,850	820,410

バーゼルⅢ最終化基準

CET1比率	10.9%	10.6%
除〈OCI	10.1%	10.1%

【その他の規制比率

	23/9末	所要水準 ^{*1}
外部TLAC比率		
リスクアセットベース	26.24%	18.0%
レバレッジエクスポージャーベース	9.70%	6.75%
レバレッジ比率	4.93%	3.5%
LCR(23年度2Q平均)	134.0%	100%

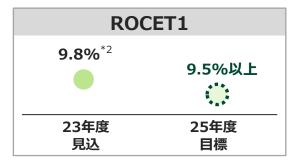
事業部門別実績/中期経営計画の進捗

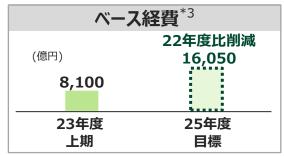
事業部門別実績

	(億円)	22年度	23年度上期	前年 同期比 ^{*1}
リテール	業務粗利益	11,477	6,218	+539
	経費	▲9,941	▲ 5,268	▲391
	(経費率)	86.6%	84.7%	△1.2%
	業務純益	1,583	984	+161
ホールセール	業務粗利益	7,623	3,969	+435
	経費	▲3,250	▲ 1,519	▲86
	(経費率)	42.6%	38.3%	△2.3%
	業務純益	5,154	2,986	+397
グローバル	業務粗利益	11,889	6,705	+810
	経費	▲ 6,779	▲ 3,910	▲ 608
	(経費率)	57.0%	58.3%	▲2.3%
	業務純益	5,559	3,113	+49
市場	業務粗利益	4,558	2,866	+199
	経費	▲ 1,357	▲ 799	▲ 63
	(経費率)	29.8%	27.9%	▲0.3%
	業務純益	3,490	2,225	+140

*1 金利・為替影響等調整後 *2 分子は通期予想の9,200億円を使用

中期経営計画の財務目標





CET1比率 ^{*4}			
10.1%	10%程度		
23/9	26/3 目標		

^{*3} 営業経費から収益連動経費、先行投資にかかる経費、マーケット環境に伴う変動等を除いたもの

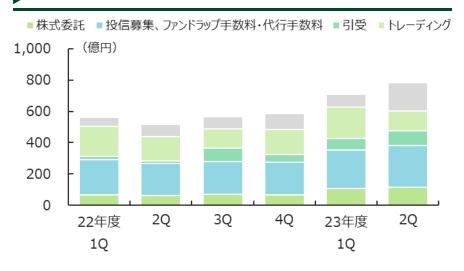
^{*4} バーゼルⅢ最終化・その他有価証券評価差額金を除く

SMBC日興

業績

(億円)	22年度	23年度 上期	前年 同期比
純営業収益	2,228	1,492	+415
販売費·一般管理費	▲ 2,673	▲ 1,374	▲100
経常利益	▲ 421	119	+300
親会社株主純利益	▲398	14*1	+108

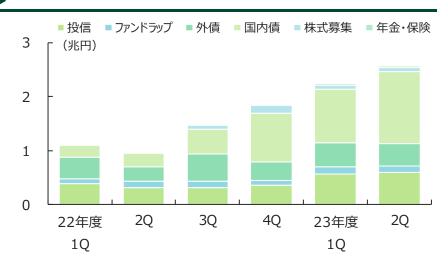
純営業収益



預り資産残高



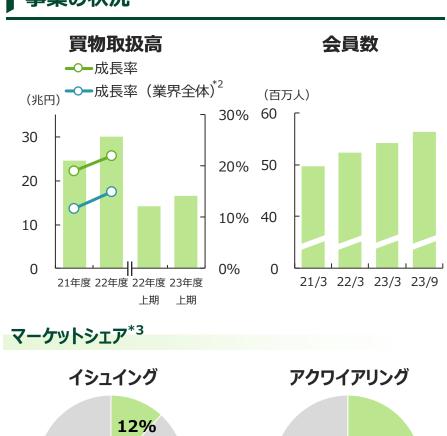
商品販売額

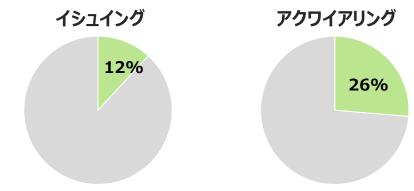


業績

(億円)	22年度	23年度 上期	前年 同期比 ^{*1}
営業収益	5,235	3,063	+554
うち買物手数料	1,938	1,093	+173
ファイナンス	1,033	784	+278
信販	280	142	1
収納代行	527	270	+14
営業費用	▲ 4,907	▲2,825	▲ 534
うち貸倒費用	▲341	▲264	▲ 110
利息返還費用	▲ 100	-	-
経常利益	331	245	+29
親会社株主純利益	218	170	+22
ファイナンス残高	7,366	10,673	

事業の状況





^{*1} SMBCモビットの再編影響を遡及反映せず *2 日本クレジット協会「クレジットカード動態調査」ショッピング信用供与額 *3 経産省「特定サービス産業動態統計調査」販売信用業務取扱高(2022年暦年、約79兆円)に占める割合

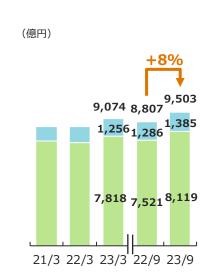
SMBCCF

業績

			23年度	前年
	(億円)	22年度	上期	同期比 ^{*1}
営	業収益	2,941	1,311	▲156
	うち営業貸付金利息	1,834	721	▲192
	信用保証収益	714	381	+28
営	業費用	▲2,168	▲ 1,020	▲ 17
	うち貸倒費用	▲ 568	▲ 461	▲ 106
	債務保証費用	▲114	▲ 34	▲ 14
	利息返還費用	▲190	-	_
経常	常利益	595	159	▲262
親纪	会社株主純利益	441	91	▲228
不」		1,070	916	
([司比率)	8.74%	9.64%	
利息	 急返還損失引当金	895	782	
(=	引当年数)	3.5年	3.1年	

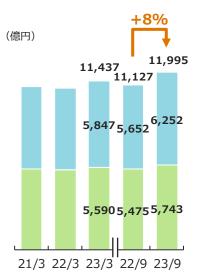
営業貸付金残高





保証残高





利息返還請求件数

